

全学教養科目「東南アジアにおけるビジネスキャリア・海外研修」 実践報告

国際教育交流センターアドバイジング部門キャリア支援室

坂 井 伸 彰

はじめに

名古屋大学では、2015年度より全学教養科目の配当科目として、海外研修とその前後の授業とを一体化させた「全学教養科目特別研修」を運営している（宮崎ら2016）。その科目の1つである、キャリア教育の要素を取り入れた「東南アジアにおけるビジネスキャリア・海外研修」を、2016年度は筆者が担当した。本稿では、その教育活動の実践について報告を行なう。

1. 実施概要

(1) 教育目標

本科目では、10コマの事前授業に加え10日間に及ぶタイでの現地調査（企業への訪問及びインタビュー調査）を通じて、日系企業のグローバル展開の在り方について理解を深めることを教育目標として定めた。そして、将来はグローバルに活躍することを希望する学生が、海外で奮闘しているビジネスパーソンの姿に直接触れることで、卒業後のキャリア（ありたい姿）を具体的にイメージできることを目指した。

(2) 教育方法

企業訪問に際し、自らの興味や関心を顕在化させ、課題（リサーチクエスト）を設定するよう指導した。まず、調査対象先（訪問企業）を選び、学生同士で訪問企業先に関する合意形成を行なうようにした。企業との訪問のための交渉や、訪問日時の調整は、学生自らがメールで行なうようにしたが、その文面の作成を含め、企業とのコミュニケーションに関する一連の支援は担当教員が徹底して行なった。また、企業訪問時のインタビュー内容も自ら考えるよう事前授業を運営し、教員は学生からの質問があった場合に助言を行なうように努めた。

(3) 実施スケジュール

①事前授業

11月より毎週1コマ90分の事前授業を行なった。事前授業の前半の45分間は、タイに対する理解を多角的に深めるため、「政治」、「経済」、「農業」、「文化・宗教」、「教育」、「現代社会」等のテーマを学生一人ひとりに割り当て発表を行わせ、発表後にクラス全体で学生及び教員間で質疑応答を行なった。後半の45分間は、企業訪問に際し、調査対象先（訪問企業）の選定理由や、訪問時の質問内容について担当教員を交えてディスカッションを行なった。

なお、第1回目の事前授業時には、本学バンコク事務所副所長の村瀬潤准教授（農学部）をゲストに招いたオリエンテーションを実施し、筆者より企業研究の手法について講義を行なった。第8回目の事前授業時には、国際開発研究科のカンピラハープ・スネート講師によるタイ語の日常会話に関するレクチャーを行なった。また、一連の事前授業には同国での滞在経験を持つ国際教育交流センターの松尾憲暁特任講師及び小倉みどり事務補佐員も参加し、学生たちが同国をさらに理解するためのヒントや情報の数々を提供頂いた。

②現地研修

平成29年2月21日より3月2日の10日間、タイ・バンコクを訪問した。3社（5部門）への企業訪問に加え、チュラロンコン大学生との交流会（料理を通じた交流会：写真1）、同大学生が同伴したチュラロンコン大学内のキャンパスツアー（写真2）、文化施設へのフィールドトリップ、文化体験（学内施設での民族楽器体験）などを研修に取り入れた。現地では、本学バンコク事務所教職員より学生引率の協力を得て、企業訪問及び文化体験等を実施した。

また企業訪問を行なう前日は、具体的に誰がどのような質問をするのか参加学生間での役割分担に関する最終確認を行ない、企業訪問後には「反省会」と称し



写真1. チュラロンコン大学生との交流会の様子

て、企業訪問を通じて得られた情報を引率教員と共に振り返るようにした。

③事後授業

3月31日に成果発表会として、「事前研修及びタイ現地研修を通じて学んだこと・感じたこと、その上で今後の学生生活或いは人生で何をどのように活かしていきたいか」をテーマとして、参加学生達は20分程度の個人発表を行なった。

(4) 参加学生

計6名の学生（農学部3名，経済学部2名，教育学部1名）が参加した。

2. 学生アンケートの結果

研修後に参加学生達に回答を依頼し、全員から回収したアンケート調査の結果を、別表にまとめた。参加学生から概ね高い満足度を得ることができた。

3. まとめ（成果と課題）

上述のアンケートのとおり、参加学生達は本研修の事前授業、現地研修での企業訪問等を通じ、卒業後のキャリア観が顕在化され、また同世代の学生との交流を通じ、タイへの理解が一層深まったことが伺える。その一方、事前授業時は、学生達はビジネスパーソンに対する「問い」を形成することに不慣れであった。このような授業では、学生達が主体的に「問い」を形成するために、教員は知識を伝授する存在というよりも、学生達が主体的に知識を取得し、構築するこ



写真2. チュラロンコン大学内キャンパスツアーの様子

とを支援できるようなファシリテーターとしての役割が徹底的に求められることを実感した。このことは、次年度以降の本研修の実践にさらに活かしたい。

謝辞

本研修では、平成28年度国際機構プロジェクト経費より助成を得て、一連の研修を実践することができました。また、現地研修では、AJINOMOTO Thailand Co.,Ltd.の多湖泰裕氏、Ishida Taiseisha Thailand Co.,Ltd.の厚見紀彦氏、UNIQLO THAILAND Co.,Ltd.の谷健太郎氏より、本学学生の訪問をお認め頂き、各企業への訪問が実現いたしました。各訪問企業の従業員の皆様との交流を通じ、参加学生達は大きな学びを得ることができました。また、名古屋大学バンコク事務所のウィラヤー特任助教、ナッター職員より、参加学生の受入れ及びチュラロンコン大学生との交流に際し、多大なるご支援を頂きました。事前授業よりお世話になった農学部村瀬准教授、国際開発研究科スネート講師、国際教育交流センター松尾特任講師、小倉事務補佐員及び小川事務補佐員、学生交流会に参加したチュラロンコン大学生達をはじめ、この研修でお世話になった全ての皆様のご厚意に、心より感謝申し上げます。

参考文献

宮崎志穂，河嶋春菜「海外研修一体型全学教養科目（NU-OTI）の試み」（2016），名古屋大学国際教育交流センター紀要第3号，pp13-pp21

別表

2017年6月

『東南アジアにおけるビジネスキャリア・海外研修』参加アンケートまとめ

名古屋大学 国際教育交流センター
アドバイジング部門 キャリア支援室

【1-1】事前研修について(11月～2月実施)、最も当てはまる内容を以下から一つお選びください

大変満足	6	概ね満足	0	どちらともいえない	0	やや不満	0	大変不満	0
------	---	------	---	-----------	---	------	---	------	---

【1-2】上記回答理由を記述して下さい。(自由記述)

- ・私がこの研修で期待した海外で働く人との交流と海外の学生との交流がともに達成できたから。
- ・企業の方々と直接メールを交わすことで、社会に出た時に必要なビジネスマナーを学ぶことができた。
また、タイについてそれぞれがテーマを決めて学び、発表することでタイの事をよりよく知れたのはもちろんの事、調査や発表のスキルも学べたから。
- ・日程調整をし、タイ事情や現地の企業について自分の理解を深める時間が十分にあったと思うから。
- ・事前に自分の知っておくべき知識(訪問先の企業や国について)を多く得ることができたから。
プレゼンの良い練習になった。
- ・時間をかけて企業を調べたり、タイについてそれぞれ発表することで知識も増え、理解が深まったと思うから。
みんなで話し合っ、時間をかけた分、その企業へ親しみも持てたし、当日の質問内容も有意義なものになったと思う。
ただ、もう少し早い時期から企業にアポを取り始めれば、もう一社訪問できたかなと思う。
- ・発表や企業探しなど大変なことが多かったが、事前研修をしっかりと行っていたためタイ研修がより充実したものになったと思うから。時間が長かったこと以外は満足。

【2-1】現地研修時の企業訪問について、最も当てはまる内容を以下から一つお選び下さい

大変満足	5	概ね満足	1	どちらともいえない	0	やや不満	0	大変不満	0
------	---	------	---	-----------	---	------	---	------	---

【2-2】上記回答理由を記述して下さい。(自由記述)

- ・企業の方々は、僕らの疑問に真摯に答えてくれて、僕たちが一番知りたいことをしっかりと答えてくれたから。
また、実際にグローバルに企業で働く人を見ることで、自分の目標となる将来像をイメージすることができたから。
- ・たくさんのお話を伺うことができたから。少人数でちゃんとした企業訪問は初めてで、失礼にあたるようなことがないか緊張したが、良い経験になった。
実際に海外で働く人が、どういった心構えで実際に何をしているのか、新聞やネットではなく、直接聞いて良かったと思う。
- ・各々が訪問したい企業のアポを取ることができ、有意義な質疑応答を行うことができたから。
- ・現地で尋ねたいと思っていたことは伺うことができ、また、それ以上のものを教えていただくことができたから。
- ・自分の行きたい企業に訪問でき、直接お話しさせていただくことで普段の生活では得られない経験をたくさん得られたので。
自分が普段行ける場所ではない場所(企業のオフィスや工場)に伺わせていただくことができたから。
海外で働いていらっしゃる人々から直接お話を伺うことができたから。
- ・事前の調べをかなりしっかりと行っていたため、深い内容までいろいろと聞けたため。
すべての企業が親切に対応して下さい、非常に満足。

【3-1】現地研修時のチャロソソ大学生との学生交流について、最も当てはまる内容を以下から一つお選びください。

大変満足	5	概ね満足	1	どちらともいえない	0	やや不満	0	大変不満	0
------	---	------	---	-----------	---	------	---	------	---

【3-2】上記回答理由を記述して下さい。(自由記述)

- ・チュラの学生がいなかったらこの研修の満足度は半分に減っていたと思うくらい、みんな優しく親切だったから。
学生交流以外の時間も一緒にご飯に行けたりできたのはとても良かった。
- ・現地の同年代の人々と交流することができたから。
市街地を案内してもらえたりと、プログラム外のことについても現地のことについて頼れる人がいたことは心強かった。
- ・チュラ大の学生たちは、学生交流のプログラムの中だけではなく、予定に入っていなかった日にもテスト前にもかかわらず、

僕たちとごはんに行ってくれたりして本当に楽しかった。

実際に現地の人と話さないとわからないことも多くあるので、それを気軽に聞ける同年代の方々と関わったのは本当に自分のためになった。

- ・すごく仲良くなれたとぼくは思っているからです(笑)
 - ・みなさんが親切に多くのことを教えてくれたり、タイの街を案内してくれたりしたため。
 - ・一緒に料理を作ったり、タイを案内してもらったりと、貴重な経験ができたから。海外の学生と交流するのは初めてで緊張したが、とても親切にってもらって、たくさん思い出ができたし、なにより楽しかった。自分の話した英語を通じる事が嬉しかった。チュラ大の学生の能力、意識の高さを実感して、刺激を受けたこともよかった。
- ただ、チュロンコン大学の学生のテスト期間とかぶってしまったのがもったいなかったと思う。

【4-1】本研修について、全体を振り返り、最も当てはまる内容を以下から一つお選び下さい。

大変満足	6	概ね満足	0	どちらともいえない	0	やや不満	0	大変不満	0
------	---	------	---	-----------	---	------	---	------	---

【4-2】上記回答理由を記述して下さい。(自由記述)

- ・海外に行ったことがなくて不安も大きかったが、行って本当に良かった。
企業の方やチュラ大の学生など、普通では関わることのできない人と交流することができた。
自分の将来について考えるきっかけにもなった。英語、その国の言語を話せることがコミュニケーションを取る上で大切だと身をもって実感できた。
- ・企業訪問では自分がやりたかったこと(アポを取る、現地で質問をする)を達成することができ、研修全体を通じて、精神的な面でも多くのことを学ぶことができたから。
- ・全体を通して少しでも海外のことを知ることができ、それに伴って海外に興味をもつことができたため。
- ・企業訪問や学生交流を経験して、このグローバルな社会で働くための知識や経験を得ることができ、また、様々なことへのモチベーションのアップにつながったから
- ・自分が今やるべきことについて知ることができたから。海外についての見聞を広げることができた。
自分の将来について考える良い機会となったから。
- ・海外初体験ということもあり、今までに経験したことのないようなことがたくさんで非常に良い刺激となった。
海外企業を見るという貴重な体験を学生時代にすることにより、海外で働くということにさらに興味が増したとともに、これからの進路を真剣に考えなければならないと感じた。

【5】本研修に参加しようと思った動機を教えてください。(自由記述)

- ・初海外の自分にとって、語学のスコアも必須でなくて、期間が一週間ちょっとで手軽だったのと、金額も他のプログラムに比べて安かったから。坂井先生に話を伺いに行った際、歓迎して下さったのも大きかった。
内容も、自分の将来を考える上で役立つと思ったし、単位として認定されるのもよかった。
- ・農学部に掲示板をみて、進学か就職か迷っていたためインターンなどにたくさん行こうと考えていたが、海外の企業を訪問できるというのはなかなかできない体験なので思い切って参加してみようと思った。
- ・海外留学(短期)に参加したく、その中で自分がもともと行きたい国であったタイの研修があったから。
その金額も安く、奨学金が出るということを知り参加を決めた。
- ・それまで何に対しても無気力であった自分の現状を変えるため。また、英語中心のプログラムではないので英語に自信のない自分でも参加しやすかったため。
- ・長期の留学をしようと思ったが、時期的に遅く短期の海外研修を探しており、そのなかで興味をもったから
- ・大学生活で打ち込めるものがなかったから、何かに挑戦をしようと思ったため。海外で働くことに漠然とした興味憧れがあったため。

【6】本研修を通じて、どのようなことを学びましたか(或いは、感じましたか)? (自由記述)

- ・世界で活躍されている日本人は、日本とタイのことをよく知っていて、お互いをフラットに見て接することを大事にしており、また、日々勉強することを怠っていないという印象を受けました。
私はリーダーとして参加してグループの方向性を決めたり、議論を進める役を担うことで、自分の意見や考えを伝えることの重要性和難しさを感じました。また常に現状を把握しつつまでに誰が何をやるかを明確にし共有するスキルも研修を行う中で身についたと思います。

- ・今、この研修を振りかえると、自分の中で夢中になれるものを見つけ、それをやりぬくためにも広い視野をもって行動していくことの大切さを感じました。
- ・それまでの自分が、国内で働くことと海外で働くことを区別して考えすぎていたこと。
インターネットで調べたりして聞くのと、実際に現地へ行ってみるものとの差。実際に自分の目で見てみるものの大切さ。
コミュニケーションツールとしての英語の大切さ。など
- ・英語の必要性(英語圏でなくとも)国内外に限らず色々な土地に行くこと 留学に興味湧いた
自分の生まれた日本、名古屋に愛着が湧いた 自分が得意なこと・好きなことを伸ばす
(自分のアイデンティティとなるようなものを持つ) 自分が就きたい職業、職種についてもっと知るべき
- ・いろいろあるが要約してしまうと、海外で働くということは大変な分、得られることも多いということ
働くという姿勢は海外も日本も変わりはなくみんな真剣に仕事をしているということ。
タイの経済格差について事前研修で知ってはいたものの、やはり実際に見てみると想像以上のものだったこと。
タイの学生はみんな親切で、他の人を思いやったり、みんなと楽しく過ごすことが上手であるということ、
勉強も頑張っているが、とても充実した学生生活を過ごしているということ。
- ・英語の勉強が足りないと感じた。海外に行く際は、その国の言語も少しは勉強したほうがよいと学んだ。
タイが想像以上に栄えていた。
チュラ大の学生が勉強している姿を見たり、高い地位にいる方でも毎日自分で時間を取って勉強していると実際に聞いて、
自分も頑張ろうと思った。
自分の好きなこと、やりたいこと、得意分野をもっている人は、自信があつて強いなと感じた。

【7】上記【6】を踏まえ、今後の学生生活或いは人生で、何をどのように活かしていきたいですか？

- ・初めて海外へ行って少し緊張したが、この経験を活かしてほかのことにも挑戦したいと思った。
実際に行ってみたり、話してみないと、その国の雰囲気や国民性はなかなかわからないと思った経験を
活かして、学生のうちに様々な国に行ったり、その国の人と話す機会を設けて、視野や考え方を広げようと思った。
勉強の大切さをひしひしと感じたので、今自分がとっている授業、新聞、いろんな分野の本など知識を増やしていきたい。
タイという慣れない場所で生活していたとき、街の風景をみたり、買い物に行くだけでも、めずらしい点に気づいたり、
注意深く考えて行動したように、日本の日常生活でももっと自分の頭で考えて行動していきたいと思った。
- ・いろいろなことにチャレンジしていきたい。この研修も半ばお試し程度で応募してとてもよかったので、
いろいろなところにアンテナを張って生活していきたい。でも、自分のしなければいけない勉強・研究についてはもちろん
しっかりやらなければいけないと思わされた。
- ・英語を勉強する(特に英会話)、たくさん旅をする、留学をする
自分が得意なこと、好きなことをもっと突き詰める
- ・今回の経験を、自分の将来の像について考えることに活かしていきたい。
- ・自分が広い視点で見たときにどのような人間であるかをふまえて、自分がやりたいと思ったことを
つきつめてやっていきたいと思っています。
- ・私は何事も恐れずに挑戦すること、物事について深く考えること、自分を発信することはどこの国であれ必要
とされる資質だと思いました。これから社会に出て仕事をしようになった時、常に挑戦する姿勢を大切に、
お客様や商品について深く考えることでクリエイティブな発想や提案をできる人になっていきたいです。

【8】この研修に参加して、自分の中で変化したことはありますか？(自由記述)

- ・1日の中で睡眠時間が長すぎるのはもったいないと感じるようになり、朝早く起きるようになった。限
られた時間の中で、1日をどうやったら有意義に使えるか考えて行動するようになった。
海外へ行くことへのハードルが少しだけ下がった。
- ・自分を発信するようになった。自分に少し自信が持てた。色んなことに挑戦したいと思えるようになった。
- ・自分が今後どうしていきたいのかという目標ができました。
- ・何事にも無気力であったが、少しづつ目標が見え始め、今やるべきこと、やりたいことがしっかりと出てきて、
それに向かって行動することができるようになった
- ・自分のやりたいことをやるようになった。
学校の勉強以上に自分にとってやるべきことがあると感じ、それを突き詰めてやるようになった。
- ・海外に対する興味はとて大きくなった。海外にももっと行ってみたい、いろいろな環境や文化に触れてみたいと感じた。

【9】その他、何かお気づきの点(良かった点・改善すべき点)がございましたら、自由に記述してください。

- ・自分で興味のある業界、企業を選択してアポをとる点がよかったと思います。

- ・総合的に本当に良い研修でした。ありがとうございました。
- ・期間が10日間と短くも長くもなくちょうどよかった。企業訪問と文化体験のバランスが良かった。
坂井先生、本当にありがとうございました。
- ・自分たちで訪問先の企業を決め、アポイントメントをとるといのは今後とても役に立つことだと思うので、今後もこの研修ではぜひ取り入れるといいと思いました
- ・関係者の方々がみなさん本当に優しく、親身になって支えてくださり助かりました。